

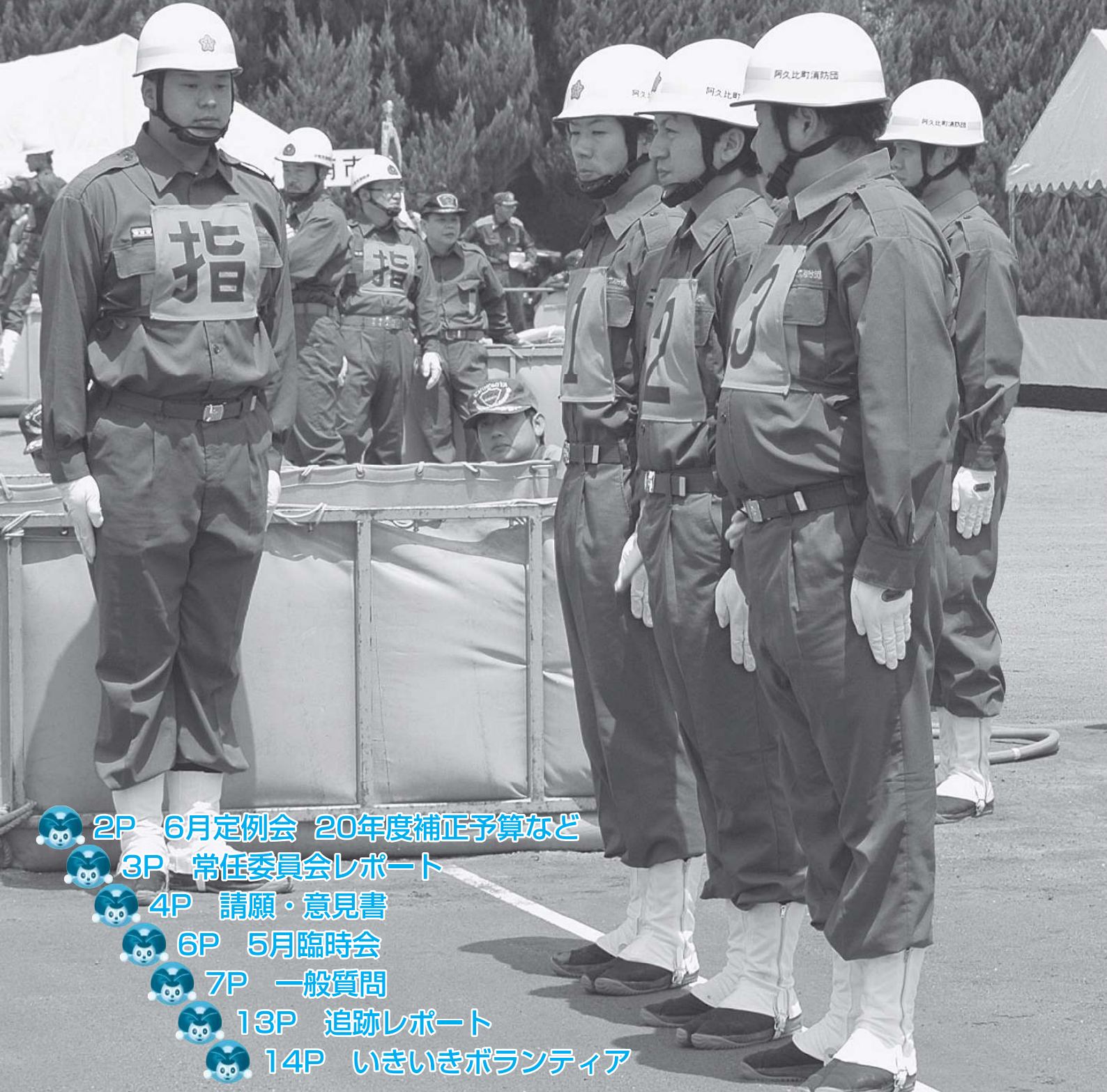


あぐい

第138号

平成20年8月1日発行

議会だより



2P 6月定例会 20年度補正予算など

3P 常任委員会レポート

4P 請願・意見書

6P 5月臨時会

7P 一般質問

13P 追跡レポート

14P いきいきボランティア

第53回愛知県消防操法大会優勝

平成20年第2回定例会

可決

阿久比町税条例の一部改正

主な改正内容として、ふるさと寄附金の見直し、上場株式等の配当及び譲渡所得等に対する税の見直し、公的年金からの特別徴収制度の導入、省エネ改修を行った住宅に係る固定資産税の減額措置の創設等によるものが主な改正。

反対討論

杉野 明議員

「納税者の便宜、市町の徴収の効率化」と称して公的年金から天引き（特別徴収）する事は、税法、憲法の精神からいって許されない。

賛成討論

竹内 貞和議員

改正によって年金受給者の納税の便宜や、徴収の効率化を図る観点から制度を導入することに賛成します。

可決

平成20年度阿久比町一般会計補正予算

☆ほくぶ幼稚園ステンドグラス補強工事 4,274千円

9カ所あるステンドグラスを保護するため、外側に窓枠を設置する。

☆心をむすぶ学校づくり推進事業 800千円

県が推進する本事業を英比、南部小学校が受け、さらに楽しい学びの場となる学校づくりを図る。（1校当たり40万円）

議会として次の方を農業委員に推薦しました。



竹内 和子さん（草木）



学校給食試食会
（給食センター）



花かつみ園（草木地区）



板山高根湿地（板山地区）

幼稚園の整備改修

総務文教

当委員会に付託されました4議案は、慎重審査の結果すべて可決しました。

主な内容として、税条例の一部改正は、公的年金からの特別徴収制度に対する修正動議不採択や、ふるさと納税、省エネ改修の減税措置創設など審議しました。また平成20年度一般会計補正予算のほくぶ幼稚園整備工事では、安全対策、保障等の指摘がありました。

(稲葉景久議員)



ほくぶ幼稚園
ステンドグラス

建設厚生

豊かな阿久比をめざして



土地改良予定地

延伸がもたれる都市計画道路



草木岩滑線

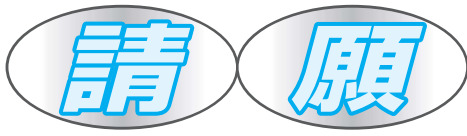


矢高横川線

当委員会に付託された議案等は8件。県補助金、支援事業補助金、過年度手数料交付金の決定など補正予算の承認を求めるものであり、すべて可決しました。

請願書については豊かな町づくりを目指すもので、市街化区域拡大、基幹道路整備、土地改良事業推進、県産業立地基本方針に関するものすべて採択しました。

(澤田道孝議員)



採択 市街化区域拡大による豊かな町づくりに関する請願書

反対討論 杉野 明議員

財政規模が大きければ自由に使える財源があるとは言えません。市街化区域を増やせば町が発展するのでしょうか。土地改良事業の再開を求める声は具体的にしていない。地元負担なし、保留地売却方式は負担が多くて難しく合意形成出来ていない。

反対討論 枡内美渡子議員

現在17%の市街化区域を27%位まで拡大せよとの主張は、本町の自然条件・伝統・住民の意向を全く無視している。将来設計を持った上で論ずべきであり、都市計画マスタープランからも問題。

賛成討論 鈴木 一夫議員

近隣市町と比較して大差ないバランスの取れた土地利用計画と速やかな市街化区域の拡大を図ることにより、自立したまちづくりのためにもぜひ必要なことであり賛成します。

賛成討論 澤田 道孝議員

調和のとれた本町の都市計画には、適正なる市街化区域の拡大が必要不可欠である。国県に対する政治的な働きかけが必要であり、高いハードルがあると思うが、町民の切実な請願に答える事が重要である。

採択 阿久比町基幹道路整備に関する請願書

反対討論 枡内美渡子議員

6路線の立地状況、関係者、補償条件等々温度差がある。地権者で話し合わせ、まとまっているかも不明ということでは賛成できかねる。また事業が進んでいる所もあり精査すべきである。

賛成討論 鈴木 一夫議員

基幹道路の早期整備開通は全町民の願いであると思います。整備達成割合はようやく60%近くに達したと聞いています。本町の発展は道路次第と言っても過言ではありません。

賛成討論 久保 秋男議員

整備開通には多くの問題点もありますが、早期開通させることは知多半島中央に位置する阿久比町にとっては、恵まれた地理的条件をさらに活かすことができ、結果として阿久比町の発展につながる。

採択 中断している土地改良事業に関する請願書

反対討論 枡内美渡子議員

請願文は議会で真相の解明がされた事柄を誤った認識で記載している。そもそも土地改良事業は農業者の意向を汲んで事業展開することが基本。中断したままの会合こそまずは再開すべき。

賛成討論 勝山 制議員

農業経営の将来を見つめ町民の皆さんと議論を高め、さらに行政の立場からの強力な指導をいただき、町民の将来のために中断しているこの事業の早期再開への取り組みを強くお願いして賛成の討論とします。

賛成討論 鈴木 一夫議員

第4次阿久比町総合計画の中でも土地利用構想のところで計画がされている。すでに町費が8,000万円余費やされています。このまま放置せず、再開を求めます。

採択 県産業立地推進基本方針案に関する請願書

反対討論

枘内美渡子議員

誘致企業の規模・業種・雇用・地元経済との連携、環境、自治体負担などの考慮がある。方向を誤れば大企業奉仕、乱開発ともなりかねない。5年という短期の事業に対し、時間的問題も大きい。

賛成討論

鈴木 一夫議員

本県の産業が他県へ流出するのを防ぐとともに、県内の産業基盤を強化するためのものです。豊かなまちづくりとその基盤づくりのためにもぜひ格段の取組みをお願いし賛成します。

賛成討論

石川 英治議員

本町内に優良企業を誘致し、財政力を良くするべきだ。財政力が良くなれば本町の福祉の向上、健康で楽しい生活も可能となる。本請願に全面的に賛成する。

意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

否決

後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書

提出者 杉野 明議員

反対討論

鈴木 一夫議員

増嵩を続ける高齢者の医療費を支え、将来にわたって医療を保証することは極めて重要な課題と考えます。後期高齢者医療制度を廃止してどのような医療制度を目指すというのか、その姿が見えないなかでの廃止はとて賛成できません。反対します。

賛成討論

枘内美渡子議員

世論調査は、制度の廃止を求める声と内閣の不支持率が比例して現れている。知れば知るほど怒りと不安が増す。国民は連帯して廃止に向けた運動に取り組んでいる。立場を越えて廃止で一致を。

否決

日本郵政株式会社が保有する株ゆうちょ銀行・株かんぽ生命保険の株式売却の停止を求める意見書

提出者 枘内美渡子議員

賛成討論

杉野 明議員

株式売却による完全民営化が進めば、郵政事業は儲け本位の事業運営が行われ、通信、金融のユニバーサルサービスは破壊されます。阿久比郵便局も人員が減り経費増大（固定資産税は倍額）し廃局になり町が寂れていかないか危惧する。

○市街化区域拡大によ

請願

- 平成20年度阿久比町老人保健特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度阿久比町水道事業会計補正予算（第1号）

・介護職員の人材確保の意見書採択を求める陳情

陳情

・住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立、平和な世界の実現などを求める陳情書

×日本郵政株式会社が保有する株ゆうちょ銀行・株かんぽ生命保険の株式売却の停止を求める意見書

議案

○阿久比町税条例の一部改正について

○阿久比町都市計画税条例の一部改正について

○阿久比町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

○平成20年度阿久比町一般会計補正予算（第1号）

○平成20年度阿久比町老人保健特別会計補正予算（第1号）

○平成20年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

○平成20年度阿久比町水道事業会計補正予算（第1号）

意見書

○県産業立地基本方針案に関する請願書

議案等

- ◎全員賛成可決
- 賛成多数可決
- ×否 決

○中斷している土地改良事業に関する請願書

○阿久比町基幹道路整備に関する請願書

る豊かな町づくりに関する請願書

第2回臨時会(5月9日)



東部小学校耐震補強工事



げんきな英比っ子



福住宅老所

可決

工事請負契約の締結

工 事 名	可決金額(円)	契 約 者	工 期
阿久比中学校北校舎耐震補強工事	108,150,000	株式会社七番組	平成20年11月25日まで
東部小学校北校舎・南校舎耐震補強工事	125,790,000	八洲建設株式会社	平成20年11月25日まで
南部小学校北校舎耐震補強工事	99,645,000	株式会社沢田工務店	平成20年11月25日まで

承認

専決処分 (平成19年度阿久比町一般会計補正予算)

マイクロバス購入事業6,804千円の繰越明許費の補正。

承認

専決処分 (阿久比町税条例の一部を改正する条例)

エンジェル税制 (ベンチャー企業への個人投資家からの資金調達をサポートするための税制優遇措置) に関する改正。

Q&A

町政を問う



勝山 制 議員

都市公園整備計画と遊具の点検整備は 順次整備をしていく

公園遊具の点検状況は、遊具専門業者が精密点検を年2回、保守点検を年10回実施しています。点検の危険度に応じて修繕を実施しています。

A 現在、新設の公園整備計画はないが、既存公園の維持管理と整備は、地元要望を整理し順次整備をしていきます。また宮津公園の水道・トイレの設置は、県補助制度を活用し整備をしていきたい。

Q 公園は憩いの場やコミュニティの場として、地域のみなさんが快適に利用し管理していかねばいけないと思います。屋外避難所に指定されている公園は20ヶ所で、トイレのない公園は6ヶ所で残りの14ヶ所にトイレはあるが、そのうち汲み取りトイレが植公園、卯ノ山公園、宮津公園で衛生面で危惧されており早期の改善を今後の公園整備計画と遊具の点検整備の状況を伺う。



Q 平成20年6月1日より住宅用火災警報器を寝室および階段上部に設置することが義務付けられています。ただし2階に寝室が無ければ階段上部に設置する必要はありません。阿久比町内全体での普及率は、どれくらい伺います。昨年はまだ住宅用火災警報器の設置は義務付けではなかったが、住宅火災で警報器の効果はあったのか。また今後普及への取り組みを伺う。

A 住宅用火災警報器の設置期限は、平成20年5月31日となっております。知多中部消防本部によると、平成20年3月末現在の設置状況は、推計で44・5%とまだ低い状況であるとのこと。また、設置してあった場合の火災では、煙が発生して鍋の中身が焦げたただけで、大事には至らなかった事例が2件ありました。今後は、町広報誌、LED電光掲示板等で普及啓発活動を行う。

Q 住宅用火災警報器の設置期限は、平成20年5月31日となっております。知多中部消防本部によると、平成20年3月末現在の設置状況は、推計で44・5%とまだ低い状況であるとのこと。また、設置してあった場合の火災では、煙が発生して鍋の中身が焦げたただけで、大事には至らなかった事例が2件ありました。今後は、町広報誌、LED電光掲示板等で普及啓発活動を行う。

住宅用火災警報器設置の状況は LED電光掲示板等で普及啓発していく

A 現在の保護活動は、生息分布調査やホタル観察会を通して自然環境保護の大切さを啓発している。また、ボランティアの方々に巻貝の調査や餌の採取並びに供給の協力を頂いている。今後ホタルを守るためには、自然環境保護への意識の向上が一番重要と考える。今以上に自然の大切さを啓発し、皆で自然を守りながら、次世代に誇れるまちづくりを進めていく。



白沢グランド西

研究会と先生や生徒のみなさんで活動していますが、ホタルの保護活動の現状と今後安定した保護ができるのか伺う。

ホタル保護活動の将来は 自然環境保護への意識の向上

Q ホタル飛び交う豊かな自然を守ります。(阿久比町民憲章) 環境も大きく変化していく中で、都市の魅力と自然とが調和したまちづくりをしていく事が重要なことです。ホタルの保護活動では阿久比町ホタル研究会と先生や生徒のみなさんで活動



枘内 美渡子 議員

園児・保護者が主人公の保育園給食のあり方

配慮した給食づくりに努めていく



4月1日の厚労省令は「保育園給食の外部搬入は認められない」と明文化した。本

町は学校給食センターで乳幼児も中学生も区別なく大鍋で調理している。本町は条例もあるが、上位法令違反を行ってきたことになる。条例制定のいきさつは。

法令違反に対し、どのような対応をするのか。保育の観点からも自園方式が望ましい。3歳未満児の給食は特段の対応を。



条例を作る際の経緯を調査したが不明の状況にあり、それを禁止するような強い規制はなかったものと考えている。3歳未満児の給食については、学校給食と同じ献立ですが、年齢に応じて味付け、大きさ、固さ、量などを工夫して提供します。

今後は、栄養士を中心に関係者が連携を密にし、乳幼児に配慮した給食づくりに努めていきたいと考えます。

中国四川省大地震を教訓に

学校の耐震化は平成22年度までに



文科省は学校の耐震化の前倒しを奨励している。

本町の取組と公共施設の耐震化率・計画を伺う。

『耐震改修促進計画』は'07年時点の71%を'15年で90%にする目標だが、中間年の数値や被災額も試算すべきではないのか。

耐震診断の対象となる木造住宅数・診断や改修の実績を伺う。促進のために、改修補助金の引き上げやシェルター方式の採用も検討されたい。



公共建築物の耐震化率は53%、平成27年度までに100%にする計画です。この促進計画には、中間年の数値、被災額は盛り込んでいません。

診断対象の木造住宅は2,200戸、診断実績は231戸、改修実績は26戸です。補助金の増額やシェルターの整備費補助は考えていません。

学校の耐震化は、既存の計画を前倒して、平成22年度までに完了する計画をたてている。

住宅改修状況

	耐震診断を受けた戸数	改修が必要な戸数	改修した戸数
2003年	80	61	—
2004年	50	39	2
2005年	68	56	8
2006年	36	36	9
2007年	39	39	7

耐震診断の対象木造住宅:2,200戸

必要ですか？電光掲示板

タイムリーに情報提供を



①設置が決まった経緯は。②モデルの自治体・団体はあるのか。③本体932万円、その他の費用は。④耐用年数は。費用対効果は。⑤1日何人が見ると想定しているか。⑥町は行革と称し断行している影響額は。⑦町の第一の仕事は福祉の増進、その認識はあるか。⑧あぐい広報・ホームページ・行政防災無線もあり必要とは思えない。交通安全上も問題。凍結し、町民の声を聞くべきと思う。



①行政情報の提供は、行政として重要な役割。

②東浦町や豊明市など。

③ニューズ配信費用（年額24万円）、電気料金（年額12万円）、インターネット接続経費（年間12万円）など。

④使用頻度によるがおおむね5年。

⑤より多くの方に多彩な情報発信を提供する。

⑥補助金削減総額は約1,300万円、使用料では160万円の増額を見込んでいる。

⑦健康の増進、子育て支援など積極的な展開を図っている。

⑧安全性並びに設置費用面から庁舎壁面に設置。交通事故等発生しないよう最善の表示方法にし、行政情報をタイムリーに、多くの町民の方に情報提供する。

その他の質問項目

●中止・撤回しない後期高齢者医療制度



杉野 明 議員

学力テストは中止を 全員賛成で参加

Q 今年も小学6年生、中学3年生全員を対象に全国学力テストが去る4月22日に実施された。文科省は「学力を調べて教育改善に役立てる」と言っているが、教育専門家から疑問の声があがっている。点数競争、地域・学校ランク付けが全国で広がっている。

①1回目の結果と2回目を実施した見解を問う。
②学力テストで本当に学力がつくのか伺う。
③私立学校では参加校が減っている。公立では犬山市だけが参加しなかったが見解を。
④本町は学力テストをどう活用するのか。
⑤本町の教育委員会は2回目の実施においてどのような議論を経て実施したのか。

A ①知識の活用、記述式の問題のできが今一つだった。

②学力テストだけでは学力はつかない。知・徳・体の均衡がとれた人づくりのための一手段と考える。
③参加は自主判断に基づいている。
④家庭との連携を図り、子ども達の学習・生活習慣の確立に努める。
⑤いろいろな角度からの意見があり、全員賛成で参加を決定した。

町は子育て支援センターのアンケートに応じて 対応を検討します

Q 支援センターが今年からスポーツ村の2階の施設で始まり多くの方が利用しています。さらによくするため多くの要望が寄せられています。①開所した4月14日〜4月末までと5月中旬の開所日数、利用者数、地域別利用人数を伺う。

②自家用車を持たない人に町の対応は。この際巡回バスの運行を。③医科学センター西広場の活用を。④エアコンの活用を。

A ①4月の開所日数12日、利用者数725人、5月の開所日数20日間、利用者数1,087人。②職員配置や道路交通法に基づく装備等の問題が多々あり、現在は実施困難と考える。③現在多目的に利用されているので、所管部局と協議します。④子ども広場には、エアコンを新設した。

今後その他の部屋の冷暖房機能に支障をきたすようであれば、今後対応を検討します。

中学生の「千羽鶴折り」運動と平和行政の推進を 平和活動に邁進していく

Q 昨年、広島平和記念式典に参加した中学生の呼びかけで、今年参加する人に阿久比町の平和に対する思いを「千羽鶴」に託し、町民の皆さんに折り鶴を呼びかけています。①中学生の平和に対する思いを応援するためにも自治体として非核平和都市宣言をし平和行政のさらなる推進を。②平和行政を推進するうえで何を考えていますか。③名古屋高等裁判所は自衛隊のイラク派遣は憲法に照らして「違法」と画期的判断をした。町長の見解を伺う。

①平成7年12月定例会において、当議会で決議された「非核と世界平和を推進する決議」を尊重するものであり、平和を愛し、核廃絶を願っています。
②平和な生活を望み、安心して暮らせる町を目指し、町議会と歩調を合わせ、邁進していきます。
③名古屋高等裁判所における判決に対し、意見を述べることは差し控えます。



平和を託す千羽鶴

通学路の安全対策は

安全な通学ルートを指導



岡戸 宏之 議員

Q 阿久比中学校の生徒の多くは、自転車通学しています。交通安全上危険な場所はないでしょうか。通学路に防犯灯がない場所は。中学生の自転車通学の指導はされているのか。また、阿久比高校から役場西の交差点までの間、防犯灯は設置されているが、薄暗く不安を抱え阿久比高校生は下校しています。防犯灯の増設の考えがあるか何う。



安全な通学路が欲しい



阿久比高校生の通学路は

A 現在444名の中学生が自転車通学しているが、通学路の安全対策については、先生・生徒でつくる交通委員が交通安全指導や自転車、ヘルメットの点検を行っている。阿久比高校から、役場西の交差点までの通学路の防犯灯は、今年の2月に一斉点検を実施し、球切れ等修理をした。被害に遭わないためにも、歩道設置されているルートの利用を要望した。

青色防犯灯の設置を

他市町の設置状況を見て



上ゲ駅駐輪場

Q 全国各地で、防犯に効果があると言われている「青色防犯灯」の設置が広く実施されています。

青色の色彩効果は、副交感神経に作用して落ち着かせる、心理的に人を冷静にさせるなどとされています。

A 青色防犯灯は平成12年にイギリス北部の都市グラスゴーで、景観改善のため設置したところ犯罪件数が減少したことから、世界的に注目され、国内でも取り組みが広がっています。

しかし、犯罪抑止効果は、科学的に十分解明されておらず、設置費用及び維持管理費も通常の防犯灯より割高となるため、今後他市町の設置状況を見ながら検討していく。



三留 亨 議員

地震災害対策は

地区の自助・共助を支援

Q 中国四川省大地震は甚大な被害を発生させた。他山の石として本町の対策について問う。

①「町地震災害対策計画」について見直すべきことはないか。

②耐震化対策（公共施設、個人住宅）の進捗状況は。

③災害対策本部として役場の機能維持は万全か。

④各行政区自主防災組織（人材、資機材）について。



防災訓練は厳しく、確実に

A ①地域防災計画は、県の地域防災計画との整合性を保つため、毎年防災会議の中で修正している。

②小中学校等公共施設の耐震化対策については、耐震補強工事を進めているが、22年度に完了する。

③庁舎自家発電装置による電力確保と、情報の孤立化を防ぐための体制整備をしている。

④防災委員の創設や資機材購入の補助を行い自助・共助の支援をしていく。

地域福祉計画は

平成23年度に策定予定

Q 社会福祉法の改正により、行政・住民が協働で実現する地域福祉の推進が法的に明記された。本町の取り組みについて問う。

①本町における従来の地域福祉推進方針は。

②「地域福祉計画」策定予定と地域特性の生かし方は。

③社会福祉協議会の位置づけと課題点（事業の多様性、人的配置、施設、財源等）は。

A ①地域で安心して暮らせるよう社会福祉関係者が協力して福祉課題の解決に取り組むこと。

②地域福祉計画は、平成23年度に策定予定で、共に生きる社会づくりを基本として、人口構成等を考慮することが必要。

③社会福祉協議会は、地域福祉を推進する民間団体で、社会福祉法に規定されている特別な団体。正規職員9名、嘱託職員等14名で、財源は会費が中心。

少年犯罪・非行予防対策を

地域のふれあいを深める家庭教育で

Q 昨年度の愛知県内少年犯罪は、刑法犯たものの、不良行為少年は大幅に増加している。本町は犯罪・非行件数とも低位を維持している。しかし薬物、性犯罪、ネット犯罪等には注意を要する。本町の少年犯罪・非行予防への取り組み等について問う。

A ①非行少年補導状況は、粗暴犯1件、不良行為補導状況は、喫煙7件、家出1件、深夜徘徊3件です。

②社明運動期間中に保護司会等によるパトロールを実施しています。

③犯罪の防止と更正について理解を深め、犯罪等のない明るい社会を築くことです。地域のふれあいを深める家庭教育事業を推進することで非行防止につながるよう取り組んで頂きたいと思っております。



標語一新 オアシスタ

その他の質問項目

●農業諸施策の推進状況は

学童保育の現状を伺う

事業者の指導管理を検討



鈴木 一夫 議員



本町において学童保育がスタートをしてすでに6年が経過。運営をする側の町当局、委託をされている事業者、利用者側家族のご支援ご協力を頂きながら、今日を迎えている。

現在の状況について以下4点を伺う。

- ① 今日までに各学区に問題があったか。
- ② あったとすればどのような内容か。
- ③ 各地区において困惑していることからは。
- ④ 今後の方針や考え方は。



① 一部の保護者や近隣住民から相談がありました。

② 「土曜日に開所していない」「子どもの声がうるさい」といったものです。

③ 「今後も学童保育を続けていけるのか」といったことです。

④ 保護者の方が安心して預けられる学童保育にしていくなために、今後委託先の事業者に対して問題解決の指導と運営管理のあり方について検討しているところです。



いきいきと輝く子どもたち

後期高齢者医療制度を問う

苦情や問い合わせが多かった



75歳以上の方々の「生活を支える医療」は、やがて到来する超高齢社会に備える新しい制度です。

長年社会に貢献してこられた方々を国民みんなで支える、分かりやすい仕組みを作るための制度であると認識している。以下4点を伺う。

- ① 本町としてトラブルがあったか。
- ② あったとすればどのような内容か。
- ③ 国保税と比較すると。
- ④ 広域連合との関係は。



① 被保険者の適用や保険料の算定等のシステム上のトラブルはありません。

② 制度に対する苦情や問い合わせが多かったです。

③ 国保税とは、算定基準が違うので単純に比較できないが、月額6万6千円の基礎年金受給者の場合と比較すると、年額で1万円負担減となります。

④ 広域連合は、保険者として保険料の賦課決定や医療の給付等を行い、保険料の徴収や保険証の引き渡し等を町が担います。

2年前の あの答弁はどうなった!!

過去に質問した内容が現在
どうなっているか調査しました。



ふれあいの森西信号付近



卯之山地区

道路整備は進んでいるが、道路整備完了後の周辺土地は、農地のままで有効な土地利用は、まだに行われていない。
市街化区域拡大についても、具体的な計画推進は実施されていない。



A

商業系用途地域のみでの市街化区域編入はできませんが、住居系用途地域と併せて行う場合は、住居系用途地域を50%以上とすれば市街化編入が可能と聞いています。都市計画マスタープランでは、役場、スポーツ村、宮津公民館の周辺及び、植大駅の南を市街化区域拡大候補地としております。

Q

阿久比町都市計画マスタープランについて、利便性の高い農地を商業地等に転用し、市街化区域の拡大を考えているか。



事業者から移転の申請は、提出されていない。



A

18年1月に処理業者から移転したいむねの相談があり、2月に施設の移転、新設に係る手続や条件等の説明をし、4月には区長名で早期移転実現についての要望書が提出された。今後、事業者から移転計画が提出されれば、県や関係部署と連携し対応していく。

Q

産業廃棄物中間処理施設の移転計画は。

いきいきボランティアグループ

地域の福祉は行政のサービスと共に、多くのボランティアによって支えられている。町内で活躍するボランティアグループを紹介しします。

宮津七草会は、平成12年に知多半島初の町設置による「宮津宅老所」のボランティアグループです。

会員は当初より倍増し、現在36名が7班編成をし週二日、町借上げの民家を利用して活動しています。利用者の中には明治生まれの方もいます。



懐メロを楽しむみなさん

戦中戦後の激動の時代を生きてきた方々が集い、楽しんでおられる様子に、会員が学ぶことや励まされることもあります。

宅老所の一日は野菜をささむ軽快な音が始まります。どの班も献立を工夫しヘルシーで温かな手作り昼食を提供しています。午後は、手芸や工作、歌唱やゲーム、民話や歴史の話などで過ごします。ときには、多彩なゲストボランティアによる日本舞踊、手品、腹話術などを楽しまます。また、春の桜まつり、秋の紅葉まつりには全会員が参加し、公民館で利用者の方と共に一日楽しく交流します。会員相互の情報交換や研修を深める場として総



平成20年度 さくら祭り

会や研修会を開催しています。また、宅老所の運営や環境整備等は、地域の多くの方々の理解と協力で支えられています。今後も活動の充実に努めたいと考えています。

(代表 舟橋禮子)



視 察 風 景

兵庫県揖保郡太子町議会から視察研修に訪町され、幼保小中一貫教育や議会だより編集などについて調査、研修ならびに意見交換を行いました。暑い日が続きます。皆様ご自愛を。

編集後記

次回定例会

9月4日(木) (開会予定)

午前10:00～

皆さんの傍聴をお待ちしています

問い合わせ先

☎48-1111

議会事務局へ